

沖縄ものづくり技術展 2018

企画管理班 松本亜里奈

平成 30 年 11 月 2 日～ 3 日に当センターで開催した「沖縄ものづくり技術展 2018 (以下、技術展)」について報告します。

本技術展は、「連携」および「人材育成」をメインテーマに、平成 29 年度よりスタートしたイベントです。今年度は「おきなわ技能五輪・アビリンピック 2018」の開催もあり、県内のものづくり産業を盛り上げるための併催イベントとして、非常に良い機会となりました。

開催期間中の来場者数は 450 名で、昨年度 (3 日間で推計 353 名) よりさらに多くの方に参加いただくことができました。

技術展のコンテンツとしては、基調講演、ものづくりジョブフェア、県内企業製品の展示、出展企業による企業プレゼン、企画展「沖縄の酒造」、当センター成果発表会および技術セミナーを行いました。

基調講演では、株式会社浜野製作所 (東京都墨田区) 代表取締役の浜野慶一氏にご登壇頂き、76 名の参加者を前に産学官連携の先進事例や、自社で行っている人材育成の取組みなどをご紹介いただきました。

ものづくりジョブフェアには工業系学生 31 名とものづくり企業 7 社が参加し、交流を図りました。学生の参加者は昨年度より少人数でしたが、学生と企業の距離が近くなり、学生側から積極的に質問をする場面も見られました。

出展企業による企業プレゼンでは、延べ 24 社が発表し、基調講演講師の浜野氏や学生および企業の方から、高い評価を頂きました。

企画展「沖縄の酒造」には、酒造関連企業 8 社とものづくり企業 3 社が参加しました。酒造関連企業と当センターで共同開発した製造技術および各種製品の紹介と、ものづくり企業の「酒造」に係る技術・機器の紹介を行いました。

当センターの成果発表会では、県内のものづくり企業と当センターが連携して取り組んだ課題の解決事例や共同研究事例を紹介したほか、技術支援メニューとその実績を報告しました。



技術展の様子

今後、企業の皆様による当センターの多面的な活用が促進され、新たな連携の創出に繋がれば幸いです。

技術セミナーでは、「3DCAD モデリング」「実演！ 生産現場の見える化」「次世代レーザー加工」の 3 テーマを開催しました。「3DCAD モデリング」では定員を大幅に超えた参加があり、受講者満足度の高い成果を得ることができました。また、「実演！ 生産現場の見える化」では、セミナー後に技術相談を受けるなど、生産工程の可視化技術に対する高い関心が窺えました。

この他、当センターに隣接する「うるマルシェ」において、おきなわ技能五輪・アビリンピック 2018 推進協議会および一般社団法人トロピカルテクノプラスと合同パネル展示会を行い、一般の方にも「ものづくり」に関心を持っていただけるよう取り組みました。

技術展の開催については、新聞や TV などのメディアで取り上げていただいたほか、県商工労働部の重大ニュースにも選ばれるなど、センターの広報活動として大きな成果を挙げることができたと考えております。

最後に、出展企業および関係機関の皆様のお力添えにより、盛況裡に技術展を開催できたことに感謝を申し上げます。駆け出したばかりの取組みで至らない点多々ありましたが、来場者および出展企業・団体の皆様からいただいたご意見をもとに改善を重ね、今後、よりよいものにできるよう取り組んで参ります。